

平成27年度(28年3月期) 第1四半期連結決算概要

1.平成27年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

減収増益：減収は6期ぶり、増益は2期連続。

ガス販売量	△119百万m <sup>3</sup>	:発電用需要減及び5月・6月の高気温による家庭用の給湯需要減
売上高	△467億円	:ガス販売量の減少及び原料費調整に伴う単価減により都市ガス売上は△416億円 :電力・LNG販売等のその他エネルギー売上高△107億円
営業費用	△812億円	:ガス原材料費が数量減及び油価低下影響等により△732億円(当期1,677←前期2,409) :電力・LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用△122億円
営業外損益	△8億円	:為替差損益△5億円(当期△2←前期3)
特別損益	△49億円	: (当期) なし : (前期) 固定資産売却益54億円、投資有価証券評価損△5億円

<27年6月末現在連結会社数:連結子会社66社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

決算実績表	27年度1Q	26年度1Q	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	3,538	3,657	△119	△3.2
売上高	4,873	5,340	△467	△8.7
営業費用	3,928	4,740	△812	△17.1
営業利益	945	600	345	57.5
経常利益	933	596	337	56.6
親会社株主に帰属する当期純利益	734	447	287	64.0

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
27年度1Q	121.43	59.49	17.6
26年度1Q	102.17	109.57	17.2
増減	19.26	△50.08	0.4

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したもの。

(2)ガス販売量

		27年度1Q	26年度1Q	増減	%	
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,285	11,137	148	1.3
	家庭用	百万m <sup>3</sup>	821	835	△14	△1.7
	業務用	百万m <sup>3</sup>	593	595	△2	△0.2
	工業用	百万m <sup>3</sup>	1,656	1,756	△100	△5.7
	計	百万m <sup>3</sup>	2,249	2,351	△102	△4.3
	他事業者向け供給	百万m <sup>3</sup>	468	471	△3	△0.7
	合計	百万m <sup>3</sup>	3,538	3,657	△119	△3.2

家庭用 :5月分から6月分の気温が前期と比較して高く推移した影響による給湯需要減  
 業務用 :ほぼ前期並みの販売量  
 工業用 :発電用需要の減  
 他事業者向け供給 :供給先事業者の需要減

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	27年度1Q	26年度1Q	増減	%	27年度1Q	26年度1Q	増減	%
都市ガス	3,482	3,898	△416	△10.7	876	553	323	58.2
器具及びガス工事	437	403	34	8.4	9	6	3	55.1
その他エネルギー	868	975	△107	△10.9	112	97	15	16.2
(電力)	296	412	△116	△28.2	33	74	△41	△55.4
不動産	64	65	△1	△2.7	15	16	△1	△6.6
その他	424	460	△36	△7.6	31	28	3	9.4
(海外)	85	76	9	12.3	23	20	3	12.7
調整額	△404	△463	59	-	△100	△102	2	-
連結	4,873	5,340	△467	△8.7	945	600	345	57.5

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	27年度1Q	26年度1Q	増減		27年度1Q	26年度1Q	増減
設備投資	349	388	△39	D/Eレシオ	0.66	0.68	△0.02
営業キャッシュ・フロー	1,067	783	284	ROA	3.3	2.1	1.2
有利子負債	7,284	7,307	△23	ROE	6.7	4.5	2.2

(注)有利子負債、D/Eレシオは27年3月末との比較

2.平成27年度 通期見通し <対前回(4.28)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回増収・利益見通し変更なし(対前期は減収増益)

ガス販売量	△75百万m <sup>3</sup>	:高気温による家庭用の販売量減等、6月までの実績差を反映
売上高	+430億円	:都市ガス+296億円(売上単価増等)、電力+105億円(販売量増)他
営業費用	+430億円	:都市ガス+300億円(原材料費単価増等)、電力+101億円(販売量増)他 :前提となる経済フレームは原油価格のみ変更(7月以降、為替レート120円/\$、原油価格65\$/bbl)

		今回	前回	増減	%	26年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	ガス販売量	15,496	15,571	△75	△0.5	15,541	△45	△0.3
	売上高	19,320	18,890	430	2.3	22,925	△3,605	△15.7
	営業費用	17,920	17,490	430	2.5	21,207	△3,287	△15.5
	営業利益	1,400	1,400	0	0.0	1,717	△317	△18.5
	経常利益	1,340	1,340	0	0.0	1,681	△341	△20.3
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,010	1,010	0	0.0	958	52	5.4

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
27年度	120.36	63.62	16.2
26年度	109.76	90.36	16.0
増減	10.60	△26.74	0.2

為替・原油変動影響感度(2Q以降)	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	35	44	△9
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	35	55	△20